

# 第5回江南市総合計画審議会 議事要旨

日 時 平成29年4月20日(木) 14:00~16:00

会 場 江南市役所 第2委員会室

出席者 出席委員19名(欠席委員1名)

## ■委員

《会長》	奥野 信宏	名古屋都市センター長
《会長代理》	松尾 昌之	市民会議代表《第2分科会・会長》
	木内 清美	愛知江南短期大学こども健康学科長
	佐々木 直	修文大学名誉教授
欠席	高橋 政稔	名城大学名誉教授
	尾関 昭	市議会議員
	掛布 まち子	市議会議員
	古池 勝英	市議会議員
	安達 秀正	愛知北農業協同組合組合長
	大谷 元	江南金融協会会長
	楓 健年	江南市環境審議会会長
	後藤 雅臣	江南市消防団団長
	澤野 康樹	古知野区区長
	松永 金次郎	江南商工会議所会頭
	陸浦 歳之	江南市社会福祉協議会会長
	加藤 幸治	市民会議代表《第1分科会・会長》
	宮川 秀男	市民会議代表《第1分科会・副会長》
	岩根 佐代子	市民会議代表《第2分科会・副会長》
	柴田 広美	市民会議代表《第3分科会・会長》
	早瀬 裕子	市民会議代表《第3分科会・副会長》

■傍聴者 なし

## ◆議題

### 報告

- (1) 第3回江南市総合計画審議会 議事要旨について
- (2) 第3回江南市総合計画審議会 主な委員意見について

### 議題

- (1) 第6次江南市総合計画基本計画 第4章について(分野Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)
- (2) その他

### <配付資料>

- 資料1 第3回江南市総合計画審議会 議事要旨
- 資料2 第3回江南市総合計画審議会 主な委員意見について
- 資料3 第6次江南市総合計画 基本計画(案)
- 資料6 第6次江南市総合計画 基本計画(案)【第4章分野別計画】

## ◆会議結果

### 1 開会

事務局より挨拶

古知野区区長：澤野様より挨拶

### 2 報告

事務局より報告事項を説明

### 3 議題

#### (1) 第6次江南市総合計画基本計画 第4章について

#### <分野Ⅲ：しごとづくり分野>

(会長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第4章について、分野Ⅲしごとづくり分野の説明をお願いします。

(事務局) ~資料6の29ページから31ページについて事務局より説明~

(会長) ただいまの説明について、何かご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

(委員) 「柱2 農業の安定経営と農業施設管理」の10年後のすがたに「耕作放棄地の増加の抑制」とあるが、現在どれほど増えているのかがわかるデータはあるか。現状値がわかった方が目標も明らかになる。

(事務局) 数値については手元に持ち合わせておりませんので後日改めて回答します。耕作放棄地の抑制として、担い手への農地の利用集積といった方策を考えており、指標に掲げています。それ以外の方策も検討していますが、現在の取り組みとしては農地の利用集積によって耕作放棄地の抑制に繋げていきたいと考えています。

(会長) 裏付けとなる資料は文章中などに入れてほしい。

(委員) 「柱2 農業の安定経営と農業施設管理」の個別目標①の指標である「市民菜園の面積」の説明に“地産地消”とあるが、“自給自足”が適切ではないか。

(事務局) 表現につきましては、後日改めて回答します。

(委員) 「柱1 地域の雇用を支える産業の育成支援」の「行政の使命」における企業誘致に関して、せっかく市長の戦略政策もあり、基本方針では地の利や税の優遇措置等について示されているので、分野別計画として、もう少し具体的な記述があると良い。

(会長) 何か具体的な記述を追加すると良い。

(委員) 「柱1 地域の雇用を支える産業の育成支援」の個別目標③の基本施策に「観光事業の推進」とあるが、駅周辺には独立した観光案内所がないので、駅前等に設置していくことを検討してほしい。

(会長) 後で戻っていただいても結構ですので、次の議題に進みます。

#### <分野Ⅳ：ちいきづくり分野>

(会長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第4章について、分野Ⅳちいきづくり分野の説明をお願いします。

(事務局) ~資料6の32ページから44ページについて事務局より説明~

(会長) ただいまの説明について、何かご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

(会長) 目標値が入っていない箇所がいくつかあるが、次回までに示すことは可能か。

(事務局) 次回までにはお示しします。

(委員) 「柱7 地域で支え合う生活支援のための体制の確保」の個別目標①に「保護の廃止世帯数」を指標に掲げているが、グラフを見ると高齢者世帯の割合が激増しており、年金が少ない中での自立は難しい。これまではパーセンテージで目標値を設定していたと思

うが、なかなか達成できない中で件数を目標値に掲げることにはかなり厳しい目標値のように感じる。市ではどのように捉えているのか。

- (事務局) 高齢化に伴い、高齢者世帯の割合が増加しているのは間違いありません。しかし、その他の世帯類型も将来的に減らすことは難しいと思いますが、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。目標値については再度検討します。
- (委員) 「柱7 地域で支え合う生活支援のための体制の確保」の個別目標②に生活保護世帯の生徒への学習支援として「子どもの学習支援事業」とあるが、どのようなものか。
- (事務局) 勉強をしたいけれども資力がないため、勉強できないという子どもに対する支援になります。勉強する場所を設けたり、訪問して勉強を教えるなど、勉強したい人に勉強できる機会を増やすような取り組みを展開していきたいと考えています。生活保護で授業料を支援し、さらに学習面でもサポートしていくことを考えています。
- (委員) 「柱1 安心・安全な地域づくりの推進」のグラフを見ると犯罪件数が減ってきていることがわかるが、犯罪の内訳を教えてください。また、「柱2 市民の安心を守る消防・救急体制の充実」のグラフでは救急出動件数が横ばいとなっているが、内訳を記載してほしい。
- (事務局) 犯罪件数について、犯罪種類は刑法犯を示すもので、住宅への侵入、ひったくり、自動車等の部品盗難や車上荒らし、自動販売機狙い、強盗、恐喝、性犯罪等です。
- (事務局) 救急出動件数の内訳分類については、詳細に分けると11項目に分かれており、主なものは、急病、交通事故等となります。内訳の記載については、再度検討します。
- (会長) 主なものは分けて表示した方が市民にわかりやすいと思う。
- (委員) 「柱4 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進」の個別目標③に「障害児への自立支援」とあり、児童発達支援や放課後等デイサービス等の福祉サービスを提供するとあるが、デイサービスは新規参入が多く、量の部分では満たされている。それよりも、サービスの質の充実が必要ではないか。
- (委員) 「柱5 誰もが活躍できる健康な生活の確保」の個別目標①に肺がん検診等の精密検査受診率が指標に掲げられているが、精密検査より最初の検診受診者を増やすような指標があった方が良いのではないか。  
また、検診受診率はどのくらいか。
- (委員) 「柱3 地域に住み続けられる支援の推進」の個別目標①の指標における目標値が現状値と同じなのはなぜか。
- (事務局) 今後高齢者が増加していく中で、現状のパーセンテージを維持していくことは、結果的に目標をクリアしているという考え方のもと、目標値を設定しています。
- (会長) これが限界値ということですね。
- (委員) 団塊の世代が高齢化し、従来の介護予防から総合支援事業に改正された。市長の戦略政策の中でもサロン活動に関して触れられるなど、地域で支え合うといった考え方があるので、「柱3 地域に住み続けられる支援の推進」の高齢者福祉にも地域での支え合いに関する文面をもう少し盛り込んでほしい。また、「柱7 地域で支え合う生活支援のための体制の確保」に生活保護に関する記載があるが、生活困窮者と高齢者の支援をもう少し整理した方が分かりやすい。
- (会長) 検討して、次回回答してほしい。
- (委員) 「柱4 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進」において、障害者が生きがいをもって安心して暮らすためには、健康、仕事(社会貢献)、余暇(趣味)の3つの視点が重要である。そういったワークライフバランスの点から生活に潤いをもたらすための対策として、基本計画には就労支援サービスや個別相談の体制確立など、健康と仕事に関する対策は書かれているが、余暇の視点が欠けているように思う。通所施設等に通っている障害者等も休みの日には出かけられるところがない。障害者のワークライフバランスとして、行政がサポートできることも考えていく必要がある。
- (事務局) 委員からのご質問に関して、受診率は肺がんが20%、大腸がんが19.6%、胃がんが13.1%、前立腺がんが11.2%、乳がんが28.8%となっています。
- (委員) 全国の乳がんの健診率は33%だったと思うが、数値が低いように感じる。

(事務局) 先程の受診率は事業所などで行っている検診を除く江南市の実施率になりますので、全体の検診率はもう少し高くなると思います。

#### <分野V：行政分野>

(会長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第4章について、分野V行政分野の説明をお願いします。

(事務局) ～資料6の45ページから57ページについて事務局より説明～

(会長) ただいまの説明について、何かご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

(委員) 「柱1 市民相談・窓口サービスの充実及び男女共同参画社会の形成」とあるが、本来の考え方からいくと2つの分野に分けるべきである。

私は長い期間、江南市と一宮市の男女共同参画に携わっているが、推進状況がなかなか進まないのが現状であり、江南市の計画では平成29年度の間見直しに向けて、委員会で評価を行っているが、14の成果目標について、目標に達していない状況である。江南市は、愛知県で初めて男女共同参画都市宣言を行ったのだが、なかなか進んでいない。個別目標③の指標に「審議会等における女性委員の登用率」が挙げられており、平成28年度の達成率は26.2%となっているが、一宮市では既に33%となっており、愛知県でも30%となっている。平成27年8月に国会で女性活躍推進法が成立しているが、江南市ではこのあたりが手付かずとなっている。本文をみると、付け足したように男女共同参画社会の形成が謳われているような印象である。

(委員) 今のご意見に加えたいが、市役所における行政職員の幹部登用率や男性の育休取得率はどうなっているのか。

(事務局) 幹部登用率は、適正な配置を行っているところですが、現在の課長職世代の女性職員そのものが極めて少ないため、女性の登用率は低い状況となっていますので、記載することも難しいと考えています。男性の育休取得率も極めて少ない状況となっています。

(委員) 47ページの柱名が「地域協働の推進-市民協働-」とあるが、資料3の目次をみると「地域協働の推進-地域経営-」となっている。成果体系のタイトルは「地域協働の推進-市民協働-」となっているが、どちらが正しいのか。

(事務局) 大変申し訳ございませんでした。正しくは「市民協働」ですので修正します。

(委員) また、ひとつくり分野の柱4について、分野別計画や成果体系は「～の整備」とあるが、目次は「～の推進」となっている。

(事務局) 大変申し訳ございませんでした。全体を通して語句の精査を行います。

(委員) 資料3の13ページ以降の挿絵・写真について、前回もお尋ねしたが、どのようなイメージとなるのか一部でもよいので示してほしい。

(事務局) 前回もご指摘いただいたところですが、どこかの部分だけでも次回お示しできるようにしたいと思います。

(委員) 「柱1 市民相談・窓口サービスの充実及び男女共同参画社会の形成」の個別目標②に「身分等が正確に～」とあるが、“身分”という表現が引っ掛かる。

(事務局) 表現について検討します。

(会長) 全体を通して何かご意見はありますか。

(委員) 江南市在住の外国人のうち、約半数が藤ヶ丘地区に住んでいるが、資源ゴミの分別の当番に外国人の方はほとんど出てこない状況である。外国人の人数でいうと全国で10番目に多い地区であり、この課題にどう取り組んでいくかを検討する必要がある。

また、高齢者の問題で、見守りの活動についてあまり触れられていないように感じる。

(事務局) 分野IVの「柱3 地域に住み続けられる支援の推進」の個別目標②において、高齢者の見守りに関する取り組みを記載しています。

(委員) 行政としては具体的にどのような取り組みを行っているのか。

(事務局) 高齢者見守り事業、日常生活支援事業、要支援高齢者等援助事業、地域支援事業を行っています。

(委員) 具体的には、豊明市では、3年ほど前にセンサーを市民向けに500基配布している。住宅の要所にセンサーを設置し、反応しなかった場合に市が対応するといったものであ

る。また、4月くらいから介護ロボットを導入するといった事例もある。そういった点において、江南市はまだ弱いと感じている。

江南団地自治会では、水道検針者や新聞配達員等と連携して見守りを行っているが、行政としての具体的な取り組みは聞いたことがないので、そのあたりをお聞きしたい。

必ずしも24時間見張っていることが見守りではないが、ゴミ出しの際に一人暮らしの方の手伝いを行ったりするような取り組みはないか。外国人への対応として、私どもは、チラシ等を5カ国語対応にしたり、外国人が使用する言語の割合が多いポルトガル語については事務所に通訳を配置している。このような問題に対して、行政は具体的に何をやっているのかをお聞きしたい。

( 会 長 ) 高齢者の見守り活動はNPOや民間でも行われている。江南市の実情はどうか。

( 事 務 局 ) 郵便局や新聞配達の方と連携したり、緊急通報装置の取り付けを行ったりする取り組みを展開していますが、他自治体の先進事例等も参考にしながら研究していきたいと思えます。

( 会 長 ) 豊明市等の事例を研究しながら、具体的な取り組みにつなげてほしい。

( 委 員 ) 高齢者の見守りは団地以外でも問題となっていており、民生委員の活動とも書かれているが、他の仕事もあって手一杯だと思う。そこで重要となってくるのが地域福祉の考え方である。高齢者だけでなく、子どもや大人も参加ができるサロンとして取り上げていった方が、見守りの方法の1つになるのではないか。みんなで見守る体制づくりを、行政でも何か支援できると良い。

また、最近取り組みを始めた健康づくり体操は、6か月経つと講師が来なくなり、自分たちでやる必要があるが、素人が仕切るのはなかなか難しい。取り組みを続けていくための支援が必要であり、そのための体制づくりが必要である。

( 会 長 ) 重要なお指摘であるが、行政支援だけではなくNPOとの協働なども重要である。後程、NPOへの支援や協働といった点についても回答してほしい。

( 委 員 ) 「柱1 地域の雇用を支える産業の育成支援」に「観光資源のブランド力」とあるが、この言葉に違和感がある。どのような意味で使っているのか。

( 事 務 局 ) 「観光資源のブランド力」とは、犬山市のような大きな観光資源はありませんが、藤まつりは毎年50万人の集客があるなど、市内にも観光資源はありますので、そういったものをPRすることで江南市の知名度を上げて、多くの方に知っていただきたいと考えています。また、シティープロモーションにも取り組むなど、多くの方に江南市を知ってもらうために、江南市にある観光資源を活用して、知名度を高めていくといった考え方で「ブランド力」と表現しています。

( 会 長 ) 観光は、1つの自治体で完結することは難しいので、広域的に取り組むといった視点も重要である。

( 委 員 ) 47ページ、「地域協働の推進」の個別目標①の指標として、地域コミュニティの団体数とあり、基準値が500とある。この数字は、NPOも入っているとのことであるが、10年経ったときに、各団体の疲弊や高齢化が進むと思われるが、これをどう乗り越えていくのが重要である。行政の取り組みの中に、「まちづくり組織間のコーディネート等により」とあるが、コーディネートしていく方が他の団体をどのように支えて支援していくのかといったところが重要であり、団体を継続させていくためには、ここのところをもう少し丁寧に記述してほしい。

( 会 長 ) 毎年1千億円以上の預貯金が所有者不明となっており、これらは銀行の収入となっている。これを国で使えるようにするという法案がこの前の臨時国会で通った。使い道については今後の検討事項になるが、NPOに使っていくという考えもある。

( 委 員 ) 聴覚障害者の方が授業を受けにくいといった現状があるが、1人のために手話通訳を行うことは難しい状況である。障害者や高齢者、民生委員、外国人向けとして、スマートフォンに「UDトーク」という無料アプリがあり、互いの会話内容を変換できるサイトがある。有料ではあるが、登録することで会議等でも使用できるものなども試験的に行われている。様々な使われ方が展開され、色々なところで認められるようになると良い。

( 会 長 ) ありがとうございます。まだまだご意見があろうかと思いますが、そろそろお時間が

迫っておりますので、意見交換はこの場で終わりとさせていただきます。事務局から回答できる内容がありましたらお願いします。

(事務局) 頂戴したご意見の回答は次回の審議会でご報告させていただきたいと考えています。

## (2) その他

(事務局) 次回以降の審議会日程についてお知らせいたします。

第6回 5月23日(火) 午後2時(第2委員会室)

一週間前を目途に資料のご案内させていただきます。

また、第7回は9月下旬、第8回は10月下旬を予定しております。日程につきましては後日ご連絡させていただきます。

本日は長時間に渡りご審議いただき、ありがとうございました。

以上